

健康経営優良法人 2021（大規模法人部門）に認定されました

西本 Wismettac ホールディングス株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役：洲崎良朗)は、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人認定制度」における「健康経営優良法人 2021」(大規模法人部門)に、3月4日(木)付で認定されました。

創業以来、日本のみならず世界の食卓を豊かにするという理念のもと、100年以上の歴史を積み重ね、食の分野において商品、商物流機能、人財の3つの軸でグローバルに土台を築いて参りましたが、今後は、食の領域のみならず、ヘルスケアを含む新たな領域との融合によるグローバルソリューションカンパニーを目指し、世界の人々の Well-Being に貢献していく企業グループとして、さらなる成長を目指して参ります。

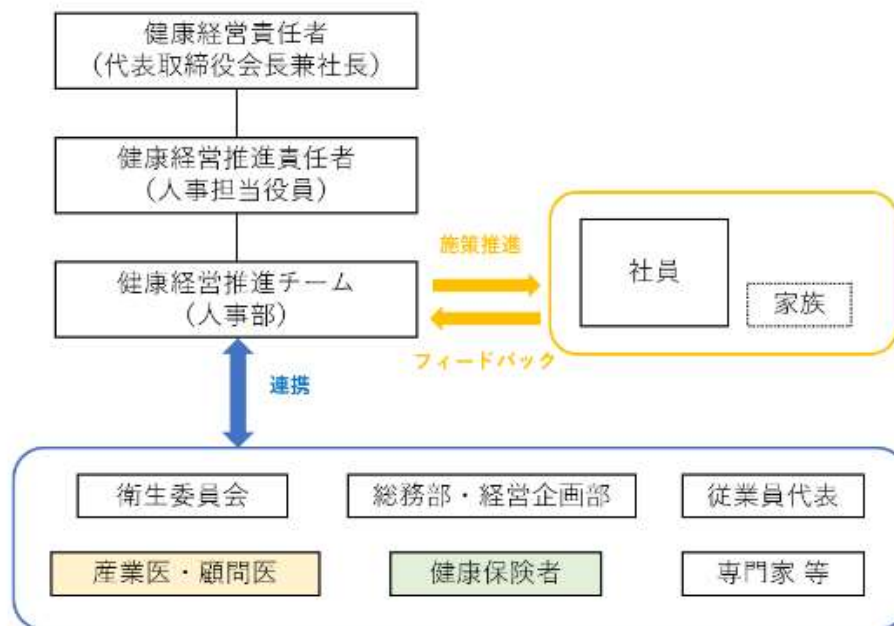


■健康経営に関する主な取組み

・「健康経営宣言」の策定と推進チームの構築

当社グループは、従来より行って参りました「健康経営」に関する各種取り組みについて、社員の認知度および意識向上を計ることに加え、対外的認知度や Employer Branding(採用市場におけるブランド力)の向上などを目的として2020年10月に「健康経営宣言」としてその方針を明文化いたしました。

また、代表取締役社長を健康経営責任者とし、人事担当役員を推進責任者とする健康経営推進チームを組織し、健康経営計画を立て施策を推進し、健康管理の実施状況について、定期的に経営会議に報告します。



・エンゲージメント調査の実施と課題の把握

会社と社員が一体となって、互いに信頼・成長しあいながら共通の目標達成を目指している状態の度合いを測る「エンゲージメントサーベイ」を導入し、定量分析を定期的に行うことで、課題の把握と対策を講じています。

社員の健康を重要な経営資源の一つと捉え、社員の健康維持・増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進により、豊かで健康な社会に貢献する会社を今後も目指します。

■健康経営優良法人認定制度について

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。

本制度では、規模の大きい企業や医療法人等を対象とした「大規模法人部門」と、中小規模の企業や医療法人等を対象とした「中小規模法人部門」の2つの部門により、それぞれ「健康経営優良法人」を認定しています。

※日本健康会議とは、少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的な支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体です。

経済団体、医療団体、保険者などの民間組織や自治体が連携し、職場、地域で具体的な対応策を実現していくことを目的としています。

※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。